

商工会地域の景況感は製造業・建設業はやや改善するも、小売業、サービス業は大幅に悪化！

—2022年1月～3月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が4月1日に発表した3月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業がプラス14と、前回・去年の12月調査から3ポイント悪化した。また、大企業の非製造業も、前回から1ポイント悪化してプラス9ポイントとなった。悪化は、製造業・非製造業とも新型コロナウイルスの感染拡大で初めての緊急事態宣言が出された影響を受けた2020年6月の調査以来、7期ぶりとなっている。企業の景況判断は、持ち直しの動きが続いていたが、ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに原材料価格が一段と高騰したことで、企業の収益が圧迫され景気の重荷になっていることが浮き彫りになっている。

中小企業の業況判断指数は、製造業がマイナス4となり前回調査より3ポイント悪化、非製造業もマイナス6となり、3ポイント悪化している。大企業と同様に製造業、非製造業ともに悪化した。宿泊・飲食サービスが大幅に悪化したことなどから、非製造業の悪化幅は大企業を上回った。

3か月後の先行きの見通し（2022年6月予測）は、大企業・製造業がプラス9と今期より5ポイントの悪化、非製造業ではプラス7と2ポイントの悪化を見込んでおり、引き続き感染拡大や原材料価格の高騰の影響等先行きを慎重に判断する企業が多く見られる。中小企業では、製造業がマイナス5と1ポイント悪化、非製造業ではマイナス10と4ポイント悪化となっている。いずれも、新型コロナウイルスの感染状況や国際情勢など先行き不透明感の高まりを反映し、悪化すると見込んでいる。

内閣府が3月25日に発表した3月の月例経済報告において、「景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。」とし、2月に引き下げた判断を据え置いた。企業収益が改善し、生産や設備投資に持ち直しの動きが見られる一方、サービス消費が弱い動きを続けており、基調判断を維持した。景気の先行きは、ウクライナ情勢などによる不透明感が見られ、原材料価格の上昇、金資本市場の変動による下振れリスクに注意する必要があると明記している。

商工会地域の景況調査においては、今期（2022年1月～3月）の業況に関するD・I値は、建設業がマイナス32.0から4.0ポイント改善しマイナス28.0、製造業がマイナス32.3から4.2ポイント改善しマイナス28.1となっている。しかし、サービス業はマイナス37.3から8.9ポイント悪化しマイナス46.2、小売業はマイナス37.5から18.9ポイント大幅に悪化しマイナス56.4となっており、建設業・製造業とサービス業・小売業とで明暗が分かれている。

来期（2022年4月～6月期）の業況予測は、製造業が今期実績よりもさらに28.1ポイント改善し±0.0と予測している。サービス業も今期実績より15.0ポイント改善しマイナス31.2を予測、小売業も10.4ポイント改善しマイナス46.0を予測している。建設業だけは今期実績より2.0ポイント悪化させ、マイナス30.0を予測している。一般的には、今期より業況は回復傾向を示すと思われる。

業界天気動向図

| 項目 | 売上 | | | | 採算（経常利益） | | | | 資金繰り | | | |
|-------|------------|----|-----|------------|------------|----|-----|------------|------------|----|-----|------------|
| | 2021 4月 | 7月 | 10月 | 2022 1月 | 2021 4月 | 7月 | 10月 | 2022 1月 | 2021 4月 | 7月 | 10月 | 2022 1月 |
| 業種 | 6月 | 9月 | 12月 | 3月 | 6月 | 9月 | 12月 | 3月 | 6月 | 9月 | 12月 | 3月 |
| 製造業 | | | | | | | | | | | | |
| 建設業 | | | | | | | | | | | | |
| 小売業 | | | | | | | | | | | | |
| サービス業 | | | | | | | | | | | | |

各項目については次により表示した。

| 区分 | 増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 減少 | 大幅に減少 |
|--------------|-------|----------|----------|------------|-------------|--------|
| | 好転 | やや好転 | | やや悪化 | 悪化 | 非常に悪化 |
| D I 値（前年同期比） | 20.1～ | 5.1～20.0 | 5.0～△5.0 | △5.1～△20.0 | △20.1～△35.0 | △35.1～ |
| 表示 | 快晴 | 晴れ | 曇り | 小雨 | 雨 | 豪雨 |

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

| 業種 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | | 5位 | | |
|-------|-----------|------|-------------------|------|-----------|------|--|------|------------|------|-----|
| 製造業 | 1位にあげる問題点 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | | 5位 | | |
| | 原材料価格の上昇 | | 需要の停滞 | | 従業員の確保難 | | 生産設備の不足・老朽化 | | 人件費の増加、その他 | | |
| | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | |
| | 23.3 | 29.0 | 10.0 | 16.1 | 10.0 | 12.9 | 10.0 | 9.7 | 6.7 | 6.5 | |
| 建設業 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | | 5位 | | |
| | 1位にあげる問題点 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | | 5位 | | |
| | 材料価格の上昇 | | 材料の入手難、従業員の確保難 | | 官公需要の停滞 | | 新規参入業者の増加、材料費・人件費以外の経費の増加、請負単価の低下、上昇難、金利負担の増加等 | | | | |
| | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | |
| | 33.3 | 29.2 | — | — | 16.7 | — | 4.2 | 8.3 | — | 4.2 | |
| 小売業 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | | 5位 | | |
| | 1位にあげる問題点 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | | 5位 | | |
| | 仕入単価の上昇 | | 購買力の多地域への流出、需要の停滞 | | 利用者ニーズの変化 | | 店舗施設の狭隘・老朽化 | | 消費者ニーズの変化 | | |
| | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | |
| | 12.5 | 20.5 | — | — | 15.4 | — | 10.0 | 12.8 | 15.0 | 10.3 | |
| サービス業 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | | 5位 | | |
| | 1位にあげる問題点 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | | 5位 | | |
| | 需要の停滞 | | 材料等仕入単価の上昇 | | 利用者ニーズの変化 | | 店舗施設の狭隘・老朽化 | | その他 | | |
| | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | 前期 | 今期 | |
| | 42.9 | 43.8 | 38.8 | 8.3 | 22.4 | 12.5 | 20.4 | 12.5 | 6.1 | 6.3 | 4.1 |